

意見聴取テーマ設定の趣旨

意見聴取テーマ：「現役世代の防災意識を高める啓発施策について」

1. 現状と課題

(1) 現状の認識

- ・北区は、現役世代（生産年齢人口（15～64歳））の割合が7区で最も高い。

参考【年齢3区分人口構成】（堺市統計書 令和2年12月末現在）

15～64歳 ⇒ 北区 61.89% 他区平均 58.3%

- ・災害への備えの重要度をどう感じているのかについて、年代が上がるほど災害への備えに取り組み、若年層ほど取り組んでいない傾向がある。

参考【災害への備えの重要度（年齢階層別）】（平成28年版 防災白書）

災害への備えに取り組んでいる ⇒ (25～34歳) 32% (55～64歳) 43%

- ・北区では、平成30年の台風21号により大規模停電や断水が発生。
近い将来も高確率で南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、災害の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりの防災力を高めることが求められている。

(2) 北区における防災の取組

[区役所] 自治会などの自主防災活動への支援や、北区の特性に応じた

マンション防災講座、親子で参加できる防災講座などの施策

[地域] 自治会による共助を支えるコミュニティづくりや自主防災組織による

工夫を凝らした防災訓練など

2. 課題認識

- (1) 北区における防災の取組の参画者は、元々防災への関心が高い層であることが多い。

現役世代の中で防災に無関心な層に意識を向けてもらうことが恒常的な課題。

3. 新たな施策

- (1) 北区に多く居住する現役世代をターゲットとした新たな防災啓発施策を実施

- ・防災意識が低い層 ⇒ 少しでも関心を持ってもらえるような啓発
- ・行動に移せない層 ⇒ 防災講座や訓練などに参加するきっかけとなるような啓発

4. 会議の進め方

(1) 《今回》効果的な防災啓発施策検討のポイントや新たな展開手法

- ・ 現役世代の関心を高めるためのポイントや効果的な展開手法について議論。

(2) 《次回》新たな防災啓発施策（案）の評価

- ・ 新たな防災啓発施策（案）の評価をいただき、ブラッシュアップにつなげる。